



プール清掃お世話になりました きれいなプールで泳ぎます!

前途洋々

何度もお願ひさせていただき(5月はお手伝いをお願いすることが多くて申し訳ありませんでした)、また、当日の天気によきもきした31日(金)のプール掃除。午前中の雨で若干予定を変更させていただいたものの、どうにか実施できたのは皆様のおかげです!3・4年生がプール周辺を、5・6年生がプール本体を集まっていたいただいた保護者の皆様とともにきれいにしました。つい先週まで1年間の垢をまとっていたプールでしたが、見違えるほどきれいになりました!また、29日(水)には、6年生が前もって、だいたいの泥を落としておいてくれました(頑張りました)。8人の保護者の皆様においでいただきましたが、大人の手がたくさんはいることで、いつも以上に美しくなりました!子供たちは気持ちよく、またいつも以上に意欲的に泳ぐことができると思います。お忙しい中、本当にありがとうございました!



人権について考える①

5日(水)の午後、「宇城市学校人権教育研究会総会」が行われ、職員が参加しました。ここで、改めて学校における人権教育の在り方について考えることができました。子供たちのものの見方、考え方、意識は、言うまでもなく周囲の大人の影響を受けます。子供たちの育ちに責任を持つ私たち大人にとって、間違った認識や思い込みを強化してしまうような言動は絶対にあってはなりません。部落差別をはじめとする多くの差別や偏見は、いまだに「現実」として存在します。一人一人が自分事として考え行動することが、みんなが暮らしやすい社会を創造することになると思います。本校は少人数で、人間関係や友達の見方、捉え方が固定化されがちな面があるかもしれません。そんな中で、「本当はおかしいと思うけど・・・人間関係がこじれるのが嫌だから・・・」ということで、あえて何も言わず「おかしいこと」を温存することだけは避けたいと思っています。本当のつながりは、考えていることを出し合える関係、互いを個として尊重し合う関係でなければできません。また、少人数だからといって、お互いのこと、お互いの思いを知っているとは限りません。そういったことから、「出会い直し」を繰り返し、本当のつながりをつくらなければなりません。「相手を知らないこと」が様々な差別や偏見を生みかねません。「決めつけ」をせず、本当のことを知り、正しい判断力を身に付けること、そして相手のことをよく知ることが大切だと、子供たちにこれからも学んでほしいと思います。その観点からも、「考えを深め、表現すること」にこだわっていきたいと思います。なお、お互いに顔の見えない関係であると人は攻撃的になりやすいと言われています(SNSでの、匿名での投稿など)。ネットの世界でも、相手のことを想像しながらコミュニケーションを図ることができる子供たちになってほしいと心から願っています。



心肺蘇生法について学びました

いよいよプールでの学習が始まる、ということで、毎年のことながら、私たち職員も、校内研修の時間に心肺蘇生法について学びました。講師を宇城広域消防署三角分署からお招きし、具体的な方法を学びました。胸骨圧迫の方法、AEDの使い方などをおさらいし、119番要請から現場到着にかかる約6分間の動きをチームでシミュレーションしました。このシミュレーション訓練は、個人的にはとても学びが大きかったです。消防署の方が言われていたのが、胸骨圧迫は「強く、速く、絶え間なく」ということ、また、できるだけ多くの方がチームで対応することが重要ということです。複数の方がいれば、救急車を呼ぶ人、圧迫の交代要員、AEDを使う人など、余裕をもって救命活動にあたることができます。AEDのパッドを貼るときは、まず体の水分を拭いた方がよいということも聞きました。でも、使わないで済むことが最優先ですね。

